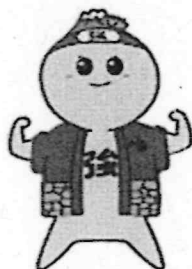


令和8年度 第2回 城北小学校運営協議会



1年生：あさがおの種まき



4年生：UD探し（学区内）

令和8年6月25日（木）

13:15～15:30

浜松市立城北小学校



第 2 回 城北小学校運営協議会

令和8年6月25日

13:15~15:30

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭 記録：田村>

1 会長挨拶（大谷会長）

2 校長挨拶（校長）

3 議長の選出（出席した委員の中から互選）

4 前回会議録確認・・・資料1

5 熟議 <議長>

（1）「城北小学校の教育」について・・・資料2

・本年度の学習の重点「主体的に学習に学ぶ態度」（研修主任：土屋）

（2）学校評価の評価項目について・・・資料3

6 報告 <司会：教頭 記録：田村>

（1）学校支援CDから

①5月の城北小サポーター活動実施報告

②城北小サポーター顔合わせ・説明会報告

7 連絡

（1）次回

令和8年10月29日（木）13:00~14:00授業参加

14:10~15:30学校運営協議会

（2）次回の熟議内容の確認

①「城北小学校の教育」について

・「城北地区、城北小の未来について考えよう（仮）」

6年生の話し合いに参加

②学校がかかえる課題と改善案

報告

・6月以降の実践について

閉会

学校運営協議会委員

会長	おおたに よしのり 大谷 好律
副会長	はかまた やすのり 袴田 泰哲
委員	かとう つよし 加藤 剛士
委員	やまざき こ 山崎 えみ子
委員	なかがわ ともひろ がっこうえん 中川 智博 (学校支援CD)
委員	かみうえ り え がっこうえん 紙上 理恵 (学校支援CD)
委員	たかだ 高田 あゆみ
委員	いしざか のりこ 石坂 紀子

オブザーバー

前会長	いわい く み こ 岩井 弘美子
はままつ青少年の家	いのした しゅんすけ 井下 俊輔
高台協働センター	もりした かずゆき 森下 和之
高台協働センター	すずき こうすけ 鈴木 皓介

学校

校長	やました あつし 山下 淳
教頭	ふるはし ま き こ 古橋 麻紀子
CS担当教職員	おおた もとこ 太田 礎子
CSディレクター	たむら しずか 田村 静

浜松市教育委員会

学校・地域連携課	やまもと み よ え 山本 美世絵
----------	----------------------

学校運営協議会 年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和8年 4月23日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校運営の基本方針について ・「やさしさ」を形にするために 説明→質疑応答→熟議→承認 (2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について (3) いじめ防止等のための基本的な方針 説明→質疑応答→熟議(学校、家庭でできること) 報告 (1) サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画 (2) 学校コーディネーターから ・4月の城北小サポーター活動計画	
2	6月25日 木曜日 14:10～15:30 会議室 授業参観 13:15～14:00	(1) 「やさしさ」を形にするために ・城北小学校いじめ防止基本方針について 熟議(授業参観の様子や学校からの子供たちの様子をふまえ、学校・家庭・地域でできること) (2) 学校評価の評価項目について 熟議(子供たち、保護者に分かりやすい項目となっているか) 報告 (1) 4・5月の実践について	
3	10月29日 木曜日 14:10～15:30 会議室 授業参観 13:15～14:00	(1) 「城北地区、城北小の未来について考えよう」(予定) ・6年生授業への参加についての説明 熟議(授業参観の様子や学校からの子供たちの様子をふまえ、学校・家庭・地域でできること) (2) 学校がかかえる課題と改善案 熟議(不登校等、学校の実情から家庭、地域でできること) (3) 6月以降の実践について	学校運営協議会自己評価実施について
4	令和9年 2月4日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校関係者評価 ① 本年度の教育活動の説明 ② 学校評価を元にした改善案についての説明 ③ 改善案についての熟議 (2) 来年度の学校経営の基本方針説明 説明→質疑応答→熟議 (3) 来年度のCS活動の計画案※CS活動の説明 (4) 学校運営協議会の自己評価 報告 (1) 夢育やらまいかCS加算分報告	学校運営協議会自己評価委員の意見収集⇒学校への提出締切: R9. 2月末日

- 1 開催日時 令和8年4月23日（木） 14時00から15時30分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 大谷 好律、袴田 泰哲、山崎 えみ子、加藤 剛士、中川 智博、
紙上 理恵、高田あゆみ、石坂 紀子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 岩井 弘美子（学校運営協議会前会長）、井下 俊輔（青少年の家）
森下 和之（高台協働センター）
- 6 学 校 山下 淳（校長）、古橋 麻紀子（教頭）、太田 礎子（教務主任）
田村 静（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田村 静
- 9 浜松市学校運営協議会規則の確認
教頭より、浜松市学校運営協議会規則の第3条・第5条・第6条・第12条・第14条の説明があり、委員全員が確認した。
- 10 会長の選出及び副会長の指名
教頭より、会長の選出について委員に意見を求めたところ、中川委員より大谷委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、大谷会長より袴田委員が副会長に指名された。
- 11 議長の選出について
教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中川委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 令和7年度 協議会自己評価の確認
中川委員より、令和7年度 協議会自己評価についての説明があり、委員全員が確認をした。
- 13 協議事項
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) いじめ防止等のための基本的な方針
 - (3) 夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について
- 14 会議記録
教頭より、委員総数8名のうち全員の出席があったため、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 学校運営の基本方針について
校長より、令和8年度の城北小学校 学校運営の基本方針についての説明があり、全員異議なく承認された。
 - (2) いじめ防止のための基本的な方針
校長より、いじめ防止のための基本的な方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。
 ・何気ない行動で、気持ちが無いにもかかわらず、周りに流されて行ってしまう子どもの行為をどのようにして未然に防げばよいか。資料の文面を吸い取り、子供に伝えることが難しい。（紙上委員）
 →頭ごなしに叱るのではなく、第一声に理由や背景を問う声掛けが大事。（校長）
 ・親が気付かなかった事案に対して、学校側から早期発見・対応して貰ったことがある。

(高田委員)

- 行動がエスカレートする前に、学校側は子どもときちんと話し合いたいと考えている。生徒指導を中心として校長の判断で早急に認知・対応をして究明するよう意識している。(教頭)
- ・ 昨年の城北小では、いじめの重大案件は1件も出ていない。(中川委員)
- ・ 行動を起こした側にも何かしら理由があるはずなので、しっかりケアして欲しい。いじめだけではない、根本的なものがあるのかもしれない。(石坂委員)
- 行動などの表れはきっかけに過ぎず、子どもによっては悩みなどの様々な気持ちが混在している場合が多い。(太田教務主任)
- ・ 多様化の時代において、乗り越えられる子どもばかりではない。(中川委員)
- ・ 子どもたちは色々経験し、教えて貰わないと分からない場合がある。親以外の大人が、仲間に入りたいたきの表現方法等を教えられると良い。地域においても、気になるようなことを耳にしたり見掛けたりした場合は、声掛けが出来ると思う。(山崎委員)
- ・ 下校の際でも様々な人間模様が見られるので、注視したい。対象になっている子どもがいたとしても、特定できないので困る。(石坂委員)
- 下校中に気になることを見かけた場合は、地域の方々其々の立場でご一報いただけると助かる。翌日からの対応に繋がる。(教頭)
- ・ 被害者と加害者の認識の違いが多々あると思われるので、早期対応で積極的に関わっていく姿勢は、興味深いと感じた。解決しない場合はどのように対応しているのか。(加藤委員)
- 学校だけで解決することが難しい場合は多々ある。学校と家庭の両方でじっくり関わり合っ
て指導していく。担任だけではなく、様々な立場の教職員が一丸となって、継続して対応
していくことが一番の解決の近道だと感じている。(教頭)
- ・ より多くの存在が関わって、まめに声を掛け合うことは良い方法。状況に変化が無いと悪化
するイメージがある。(加藤委員)
- ・ いじめの定義が変わってきた。昔はいじめで命まで失うことは無かった。(袴田副会長)
- コミュニケーションが不足している場合が多い。多様性を認めたい気持ちはあるが、複雑な
感情も抱いているなど、子どもたちだけで気持ちを整理することが難しいためにトラブルに
繋がる。大人の介入が必要な場合が多い。(太田教務主任)
- ・ 今の子どもたちはドライ。子ども間においても、良いことや悪いことをサラッと口にするよ
うに思える。(中川委員)
- ・ 本当に行って欲しいのは、心の教育。子どもを認めて褒めて無視をしない。学校は“対応”
から一歩踏み出して、子どもの心を耕して育てて欲しい。先生方一人一人が、生き方につい
ての考えを持って対応して貰いたい。(岩井さん)
- ・ 先生方が気付かないようなことを地域の人が察知したことにより、解決に繋がる場合もある
が、個人情報の関係でどこまで情報を伝えて良いかが難しい。学校側から情報を提供して貰
えるのであれば、力になれることもあると思う。(鈴木さん)
- ・ 今は言葉以外でもコミュニケーションが取れてしまうが、顔と顔を合わせて、自分の言葉で
伝えることが大事。不登校の子でも、周りが気付かないほど溶け込んで活動に参加していた
事例があった。何か気になることがあった場合には、先生方に声掛けして協力が出来れば、
一つの糸口となるかもしれない。活動等で知り得た情報を発信する場合は慎重になってしま
う。(井下さん)
- ・ 学校だけで子どもを救って対応していくのには限界がある。自分たちは大人としてどうなの
かと考えながら、子どもたちと接していく必要がある。地域においても、子どもと関われる
場所、会話が出来る関係性を作っていけば、一つの道筋が見えてくるように思われる。

(大谷会長)

開かれた学校という観点において、地域や親、施設を含めて、声掛けや連絡等による連携・協力が重要だと感じた。(中川委員)

(3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

教頭から、夢育やらまいか事業についての説明があり、全員異議なく承認された。

その他報告事項等

(1) 城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画

(2) 学校支援CDから4月の城北小サポーター活動計画と今後の活動についての報告

その他連絡

今回の運営協議会は6月25日(木)13時15分～14時00分 授業参観、14時10分～15時30分 学校運営協議会を城北小学校会議室にて行う。

令和8年度 浜松市立城北小学校 グランドデザイン

【校訓】「 正しく 強く 美しく 」

【学校教育目標】

友と仲良く よく遊び よく学ぶ子

【合言葉】「 やさしさ 」

*主体的に学び行動できる子供

*他者との協働を楽しむことができる子供

*多様性を受け入れることができる子供

みとめ合う子

みがき合う子

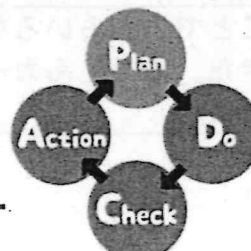
- 「主体的に学習に取り組む態度」の育成を意識した単元構想の工夫
- 協働（学び合い）を意識的に取り入れた授業・特別活動
- 付けたい「資質、能力」を明確にした学校行事等の特別活動
- 個をみとめ、互いをみとめ合う活動の充実

- ・ 特別活動 《学校行事・委員会活動》
- ・ 総合的な学習の時間 《探求的な学習》
- ・ 応援カード《各学級》
→実践の振り返り・共有
(学年、学年・ペア学年団、企画委員会、職員会議)
- ・ 道徳教育 (自分事として考える授業の充実)
- ・ 学級経営 (学年・学年団・ペア学年で)
- ・ 生徒指導 (生徒指導・いじめ対策委員会)
- ・ 特別支援教育 (学年での検討・研修)
- ・ 地域・家庭との連携
(学年・きょうだい間で情報共有)

実践の共有・検証

研修の充実

- ・ 毎日の振り返り
(下校後1時間は学年で)
- ・ 毎月の振り返り・共有
(学年団で)
- ・ 授業実践の共有
(全体研修・学年団研修)



令和8年度 城北小学校 学校評価について

1 令和8年度の取組

みとめ合う子	みがき合う子
○「主体的に学習に取り組む態度」の育成を意識した単元構想の工夫	
○ 協働（学び合い）を意識的に取り入れた授業・特別活動	
○ 付けたい「資質、能力」を明確にした学校行事等の特別活動	
○ 個をみとめ、互いをみとめ合う活動の充実（応援カード等）	

2 R7年度 評価比較（回答数：児童 376/419 教師 20/24 保護者・地域 322/429）

項目内容 「城北小の子どもたちは～」2～14 OR7年度からの項目	「そう思う・ まあそう思う」%		
	児童	教師	保護者 地域
1 子供たちのよいところ、頑張っているところを見つけて、伝えることができる。		100	92
2 友達のよいところ、頑張っているところを見つけることができる。	84.2		
3 自分のよいところ、頑張っているところを見つけることができる。	66.4	84.3↑	89
4 友達を励ましたり、友達に感謝を伝えたりすることができる。	87.5	94.7↑	83
5 友達や先生の話最後まで聞くことができる。	88.3↑	52.6	82
6 困っている友達を見かけたら、声をかけたり、助けたりすることができる。	82.1	94.7	87
7 相手の気持ちを考えて行動することができる。	75.3	89.4↑	79
8 授業中、めあてを意識して、運動や学習に取り組んでいる。	82.7↑	94.7	83
⑨最後まで粘り強く学習や課題に取り組むことができる。	76.8	89.5	91
⑩学習のめあてや自分の目標を振り返り、次の授業や生活に生かしている。	70.8	89.4	77
⑪自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする授業に取り組んでいる。（そうした場面を設定した授業を行っている。）	82	78.9	85
⑫授業の内容は分かりやすい。「主体的に学習に取り組む態度」の育成を意識した単元構想とその授業を行っている。（指導方法を工夫して、子供たちが楽しく学び合いながら学習できるような授業をしようと努めている。）	84.5	94.8	88
⑬行事や委員会などの活動の時に、友達とアイデアを出し合ったり、自分から取り組んだりしている。行事や委員会活動において、付けたい「資質・能力」を明確にし、子供たち主導で活動できるように実践できた。	79.6	89.5	86
⑭おうえんカードを書くことで、いろいろな友達のことをよりたくさん知ることができた。おうえんカードを充実させる取り組みを行うことができた。	73.1	79	

15「いじめは決して許さない」という姿勢で子供たちの指導を行っている。	83.2	100	83
16 職員（先生）は子供や保護者の話をよく聞こうと努めている。	89	100	90
17 保護者、地域の人たちの協力を得て、教育活動の充実に努めている、または協力してくれている。	90	100	90

3 「いじめ防止基本方針」の推進についてのアンケート結果（職員対象）回答数 23/25

	調査項目	できている、どちらかといえばできているの割合
1	いじめの定義（「一定の人間関係」「心理的又は物理的な影響を与える行為」「心身の苦痛」）を正しく理解していますか。	100%
2	「学校いじめ防止基本方針」の計画に則った未然防止の取組（いじめの防止等に関する取組）を行っていますか。	100%
3	いじめの未然防止に向けて、自分の役割を自覚して行動することができますか。	100%
4	自校のアンケートや「はままついじめアンケート」の結果をいじめの発見に有効活用していますか。	95.7%
5	子供との関わり・観察や個人面談をいじめの発見につなげていますか。	100%
6	いじめと疑われる行為を発見した場合、その場でその行為を止めることができますか。	100%
7	子供や保護者の気持ちに十分寄り添い、傾聴しながらじっくり話を聴いていますか。	100%
8	事実（いつ、どこで、誰が、何を、どのように、なぜ『5W1H』）を聴き取り、その事実のみ（主観は入れない）を記録に残していますか。	95.6%
9	「校内いじめ対策委員会」でいじめの認知をし、組織的な対応ができていますか。	100%
10	いじめを受けた子供、いじめを行った子供の保護者に、いじめの事実関係や対応方針・経過をできるだけ早く、丁寧に説明していますか。	95.7%
11	いじめの解消に向けて、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の気持ちを継続的に確認し、見守っていますか。	100%

＊以下のことが評価に反映されるような内容に検討したい。

○主体的・協働を意識した学習や特別活動等について（これまでの積み上げからどうであったか）

○総合的な学習の時間の取組について（3～6年）子供たちの意識はどうか？地域との連携から活動が充実しているかどうか？等

○生徒指導についてもこれまでの積み上げから今年度どうであったか。

